

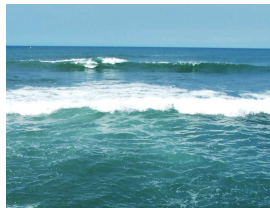
沖だしのリスク

今年の6月に山形県沖で発生した最大震度6強の地震で、山形、新潟、石川の3県では漁業者が津波から船を守るため、「沖だし」を行いました。350隻以上とかなりの数に上りましたが、幸い大きな津波にはならず皆さん無事に帰港されたそうです。

沖だしをめぐっては東日本大震災で犠牲者がかなり出ていることから、水産庁は原則的に禁止しています。しかし漁業者からすれば、リスクを承知の上での行動で、昔からの言い伝えに従い沖だしを選択されるのでしょうか。1千万円以上もする船には生活のすべてがかかっており、何が何でも守り抜くという姿勢はよくわかります。

自然の脅威に対しての絶対的なマニュアルは無く、知識と経験によって判断を下しているのが現状と思われます。通常は陸の高台に避難するのがセオリーですが、地震発生時に海上にいた場合、予想される津波の規模、到達時間、そしてその海域の水深や地形によって、港に戻るのか沖に繰り出すのか、判断が分かれるところです。東日本大震災の時、実際に沖だしされた漁船がかなりありましたが、津波を乗り切った船もあれば、波にのみ込まれた船もありました。宮城県南三陸町では沖だした漁船18隻のすべてが無事帰港され、沖だしは成功しました。これは海底の地形や水深、津波の高さなど好条件の重なりが背景にあったと考えられます。ただ出港後すぐに潮が引きはじめ、船外機をチルトアップしながらの操船を余儀なくされたそうです。18隻すべてが出港したときは、地震から30分経っており、「あと10分遅かったら半分はやられていた。」とのことでした。第一波をやり過ぎた後、遠くに第二波が見えたため、さらに沖に移動しました。第二波を越える時に船体がふわりと上下し、その後振り向くと津波が港を襲うのが見えたそうです。そして解除されない警報と港に押寄せたガレキのせいで戻れず、海上で3夜を過ごされたとのことでした。一方、別の港では地震発生10分後に沖だしを行ったものの、みるみる潮が引きはじめ、すぐに数百メートルにわたって海の底がみえてしまったため、身動きのとれなくなった船もいたそうです。数週間後、その船が真っ二つに折れた状態で沈んでいたとのことでした。

沖だしは是か非か、まずは安全海域までの到達時間を把握しておくことが必須と思われます。



※釣果情報は裏面です

安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月の保管施設

出艇数 <small>R1年7月16日～R1年8月15日</small>	38 艇
夜間係留数 <small>R1年7月16日～R1年8月15日</small>	10 艇
保管場所空き状況 <small>令和元年8月25日現在</small>	0 艇

今月の事故	接触等	0	件
	主エンジン停止	0	件
	ガス欠	0	件

秋スポ・トピックス

今年の夏も暑かったですね。梅雨明けが遅れ涼しいスタートでしたが、8月に猛暑日が続きました。皆さん楽しみにされていたお盆連休は台風の影響でほとんど出船できずじまいで残念でした。さて、7月最初の週末に秋谷の夏祭りが行われました。冷たい小雨の中の神輿担ぎは熱く、無事開催できました。恒例の若い衆による防波堤からの神神輿ダイビングも行われ、浜は人出で賑わいました。



祭りで賑わった秋谷ビーチ

ハチの巣に注意

今夏は蜂が異常に多く、施設でも頻繁に見かけます。特にアシナガバチがいたるところに巣を作っており、艇の中、両舷の裏側やコンソールの中などに巣を作るので要注意です。皆様におかれましては、艇の点検を行って頂くとともに、もし発見された場合は専門業者に依頼して撤去して下さい。万が一刺されるとショック症状を起こす可能性があるため、ご自身では行わないで下さい。また放置すると隣艇の方にご迷惑をかけることになります。



指定管理者からのお知らせ

帰港後の台風対策をお願いします

こんにちは、秋谷船舶保管施設等指定管理者の(株)昭和です。夏が終わるとやってくるのは台風シーズンです。秋谷にとって最もコワイやつです。1週間ごとに来る時もあるので、事前の対策が必須です。皆様におかれましては、帰港後に対策を講じて頂きたいと思っております。必ず艇と船台を固定してください。その上で施設金具に固定し高波対策を行ってください。カバー類、ブルーシート等は吹き飛ばされる可能性があるため、施設職員と相談の上、対策を行ってください。台風の規模によっては艇を移動する場合がありますので、予備ロープをご用意ください。

お問い合わせは ☎ 0120-560982 (コールアキヤに)

今月の釣果情報

出船日和が少ないものの黒潮が接近しているせい、季節がらか、回遊魚系が充実しています。キハダは秋谷清四郎丸さんのゲストの釣果。30キロ程だそうです。この日は4本ゲット。好調ですね。カンパチはキビナゴなどを追っている、鳥の群れを見かけたらチャンスです。マアジやイサキは小ぶりでもタキヤフライで美味しく頂けます。



キハダマグロ



カンパチ



イサキ



マアジ

小田和湾

9月休日の潮回り

1日(日) 11:56	干潮(18)	18:17	満潮(148)	中潮
8日(日) 13:39	満潮(110)	17:10	干潮(106)	長潮
15日(日) 11:28	干潮(22)	17:44	満潮(149)	大潮
16日(月) 11:59	干潮(29)	18:07	満潮(149)	中潮
22日(日) 12:03	満潮(109)	15:33	干潮(104)	小潮
23日(月) 5:41	干潮(48)	14:21	満潮(117)	長潮
29日(日) 10:59	干潮(28)	17:11	満潮(150)	大潮

9月は休日が多いです。休日組にはうれしい限りですが、あとは台風の心配だけでしょうか。自然の都合は変えられません。

トラブル回避 ワンポイント



波の力でロープが切れます

過去に遭った台風被害の状況です。台風の大波をくらった保管艇が船台から落ちました。波によって浮きあがる艇と浮力のない鉄製の船台は簡単に離れてしまいます。タイダウンベルトかロープで艇と船台をガッチリ固定してください。その上で施設金具につないで下さい。そこまでしても波の衝撃でロープが切れることがあります。また船台の周囲に備品を置かれている方もおりますが、こちらも固定しない限り、流されるのは必至です。台風の高波は我々の想像をはるかに超えて襲ってきます。やられてから「ちゃんと縛っておけばよかった」ではなく、「やっておいてよかった」にしましょう。

メンテナンスしましょう

9月は雨の多い月です。台風接近時などは集中的に降る場合もあります。ある時は保管艇デッキのスキャパーが開放しておらず、あわやオカチンという場面がありました。一部を除き、たいていはスターンにドレンボルトが装着されています。保管中はこのボルトをはずしておいてはいかがでしょうか。どこから侵入するのか、雨水が船底に溜まり、ドレンを外すと勢いよく水が出てくる艇もあります。また船体のシール部分が傷んで海水が浸入する艇もあります。ドレンボルトを開放することによって、船内の水分を放出できるので、やってみて下さい。ただし、出船前に必ず装着を確認してください。ウミチンします。



ドレンを開放しましょう



BANへのご加入はお済みでしょうか?

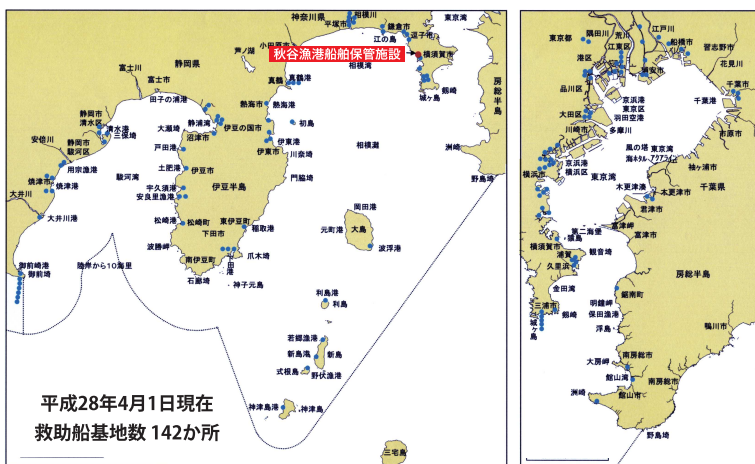
日頃は秋谷漁港船舶保管施設等をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて本施設では、募集要項記載ならびに許可の主旨の両面から、ご利用者様が出艇時になんらかのトラブルに遭遇した場合でも救助する術がございません。

つきましては、ご利用者の皆様に対しまして、BAN (Boat Assistant Network)へご加入するようお願い申し上げます。既にご加入されていらっしゃる皆様もおられることと思いますが、万一のトラブルに対して「24時間365日」の対応と「最寄の港への無料曳航サービス」が受けられるもので、皆様の安全なご利用をサポートするものでもあります。

昨今、各地マリーナでも加入を義務付ける向きの動きもありますので、必ずご加入いただきますようお願い申し上げます。

BAN 関東エリア 救助船基地図



BAN 加入者特典

- ① 所属マリーナが近場の場合には、所属マリーナまでの無料曳航サービスが受けられます。
- ② 所属マリーナから遠隔地の場合でも、最寄りの安全な港まで無料曳航サービスが受けられます。
- ③ 所属マリーナが休日の場合や、夜間の場合でも上記サービスが受けられます。

フリーダイヤル コールアキヤに

詳しくは、秋谷船舶保管施設 ☎ 0120-560982 までお問い合わせください。